

日本共産党 北区議会議員

ののやまけん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/　mail@ken-nonoyama.com

No.805 2026.11.11

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談はお気軽に 090-2156-3510

全区民に1セット15回分

携帯トイレを配付

24日より北区議会第4回定例会 北区が議案・補正予算を内示

今年最後の北区議会第4回定例会は、11月24日から12月4日まで開かれます。

今議会には、北区約37万人の全区民に携帯トイレを配付する事業の実施に向けて、携帯トイレを購入する契約案件が議案として提出されます。

この事業は、大規模災害発生時でも安全が確保された自宅で過ごす「在宅避難」を推奨するため、断水や下水道管の破損時に必須となる携帯トイレ3日分（1人あたり15個）を全区民に配付するものです。

今年度の新規事業として計画されていましたが、中東情勢などの影響で準備が遅れ、今議会での物品購入にあわせて配付業者の手配を進め、来年2月から配付を開始、遅くとも来年8月末までに全区民に郵送で届ける予定です。

梱包には、携帯トイレの使い方や災害時のトイレ確保の重要性、在宅避難のための備えを解説した「在宅避難推進リーフレット」が同封されます。

一般会計補正予算は総額約6千万円

総額約6千万円の一般会計補正予算（第5号）では、芥川龍之介記念館整備費や保育所運営費、プレコンセプション支援事業費、弁天通り工事費などの増額が提案されます。（ののやまけん）





秋風薫る 民商まつり

1日、飛鳥山公園で開かれた民商まつりに参加。地元シェフが腕を振るった料理を満喫しました。（ののやまけん）

日本共産党北区議員団の本会議質問



代表質問
ながいともこ
11月24日(火)
16:00頃



個人質問
ののやまけん
11月25日(水)
10:00より



個人質問
山崎たい子
11月25日(水)
13:45頃

50階・190メートル

ツインタワーが本当に必要か？

2つの住民団体が「王子駅前まちづくり学習会」ののの山区議が基調報告

やさしいまちをつくる会きたくと、住民本位の赤羽まちづくりを進める会の2つの住民団体は7日、北とぴあで「王子駅前まちづくり学習会」を開催しました。私は冒頭に、基調報告として、王子まちづくりをめぐる問題点についてお話ししました。（ののの山けん）

王子駅前先行実施地区では、50階・190メートルの超高層ツインタワー（東地区・西地区）と、北区新庁舎の建設を含む地区計画原案が示されています。

参入事業者の住友不動産がまとめた「環境影響評価書案」では、すべての指標が条例や環境基準を満たしており、周囲への影響は心配ないとされていますが、先月、北とぴあで開かれた環境影響評価書案説明会では、多くの参加者から、景観阻害、風害などへの懸念の声が相次ぎました。



「王子駅前まちづくり学習会」の様子　＝7日、北とぴあ

異常なまでの容積率規制緩和

今回の事業では、再開発等促進区という地区計画の導入が計画され、本来の指定容積率500％に対し、民間事業者による「公共貢献」を〝評価〟して、容積率を990％まで規制緩和することで、異常な高層建築を可能としています。

私は、住民合意のないままの規制緩和を推し進めるのではなく、再開発等促進区の導入は見送り、現行容積率の範囲内での開発で、高さを半分の25階程度に抑えるべきと訴えました。


報告する、ののの山けん区議

市街地再開発の検証と見直しを

駅前における市街地再開発をめぐっては、すでに竣工した十条駅西口での事業の検証をふまえ、現在計画されている赤羽駅東口「中央地区」計画は方向転換が必要と提起。大型開発によるまちづくりから、低層で街の歴史と魅力を残す修復型のまちづくりへと切り換えるよう提案しました。

いわぶちまち オープン 防災 DAY


かっぱ広場でのかまどベンチ使用体験


子どもたちが夢中になる防災VR体験

7日、第4回いわぶちまち防災オープンDAYが開催され、岩淵町自治会館でのトークイベントを皮切りに、たくさんの親子連れなどが防災イベントに参加しました。（ののの山けん）